

# 他にもあります。住宅火災対策品。

住宅火災が発生した時、最も重要なのは初期消火です。初期消火に有効な消火器が、ご家庭にあるのか、ないのかで、結果は大きく違ってきます。

## ☑住宅用消火器

### 消火器の使用方法

消火器を使用して初期消火を行ったとしても、火を抑えることができれば意味がありません。そこで、ばやく・完全に・きちんと消火ができるように次の操作手順を学んでおきましょう。



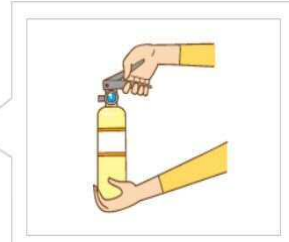
火災発生



1 安全栓を引き抜きます。



2 火元からある程度離れ、片方の手で消火器の底を持ち、ノズルを火元に向けず。  
※ホース付の消火器は使用方法が異なります。消火器をみて確認しておきましょう。



3 煙等で見づらくなっていますが、しっかり火元を狙います。そして、もう一方の手でレバーを力強く握ります。



4 住宅用消火器で約12~28秒間薬剤が放射されます！  
※各メーカーによって放射時間は異なりますので、取扱説明書をお読みください。



5 消火を確認します。一度消えたと思っても再発火する可能性があります。最後まで放射してください。

## ☑防災品

わたしたちの身の回りには常に火災の危険が潜んでいます。料理中にコンロの火が袖口に接触していたことはありませんか。たばこの火がじゅうたんに落ちたことはありませんか。このようなヒヤッとした経験がある人も多いと思います。

防災品の特徴として、たばこやライターなどの小さな火に接触しても燃え広がりにくく、火を離せば自然に消火する機能があります。

市販されているものも、カーテン、じゅうたん、パジャマ、シーツ、エプロン、枕、布団、自動車・オートバイのボディカバーなどがあります。

日ごろから火の元に注意することはもちろん大切ですが、例えば、カーテンを取り替える機会には防災品を購入するなど、火災にならない環境づくりにも併せて心掛けてください。

なお、一定の防災性能を持つ製品には、次のようなマーク(下図参照)が付いていますので、購入する際の目安としてください。



このマークが目印だよ！！



豊橋市消防本部からのお知らせ